



橋の名前決定！「マリンデッキ」

ベイトウン入口に建設中の歩道橋の名称をベイトウンニュース 8 月号で募集したところ、8 月 31 日の締め切りまでに、116 通の名前が寄せられました。皆さんどうもありがとうございました。

さっそく 9 月 11 日 (土)、君島研二郎 (青少年育成委員会) 田村伸彦 (自治会連合会) 林郁子 (ひまわり会) 松村守康 (ベイトウンニュース) の選考委員による選考会が開かれました。

選考方法は、15 通と最多数を集めた「ベイトウンブリッジ」は文句無く第 1 次選考を通過。ほかは選考委員が各 5 つ程度をノミネートし、そこから一つずつ検討に入ることになりました。以下はノミネートされた名前です。

林氏「ドリームブリッジ」「ふれあいブリッジ」「ベイトウンモール」「ベイトウン大橋」「打瀬フレンズデッキ」「打瀬ベイブリッジ」

田村氏「ウェルカムデッキ」「ふれあい橋」「プロムナードデッキ」「ゆめみ橋」

君島氏「うたせのわたし」「ゲートブリッジ」「プロムナードデッキ」「マリンデッキ」「みらい橋」「夢前橋」

松村氏「ベイロードブリッジ」「あしたにける橋」「うたせのわたし」「プロムナードデッキ」「ベイトウン橋」

選考の理由としては、「年齢を問わずわかりやすいものがない」「ふれあい、みらい、ゆめみという言葉が入っているものがない」「短くて呼びやすいものがない」「ウェルカムデッキはメッセージが伝わってくる」「橋かデッキか?」「あまり奇抜でも馴染まない」などがあげられました。

ほとんどの人がこの橋を通して仕事に、学校に、買い物に…出かけては帰ってくるベイトウンのシンボリック存在ともなると、選考委員からも「じっくり検討しよう」という声があり、選考会は 1 時間半に及びました。2 次 3 次 4 次と選考が進むにつれ選考基準は徐々に「使ってもらえる呼びやすいもの」「ベイト



ウンらしさを感じさせるもの」「名前に込められた思いが伝わってくるもの」といった点にしばられ、「ベイトウンブリッジ」は最多数ながら選外に。

最終選考 (第 5 次) では「うたせのわたし」(「橋」を

「渡し」と重ね合わせ、さらに演歌をイメージさせるネーミングがおもしろい)「マリンデッキ」(海の街のイメージと呼びやすさ覚えやすさから好評)「ふれあい橋」(住民同士あるいは訪れる人とふれあいたいという気持ちが表現されている)「プロムナードデッキ」(響きのよさとプロムナードという言葉が定着している)の 4 つにしばられました。

最後は投票により、「マリンデッキ」(2)「うたせのわたし」(1)「ふれあい橋」(1)「プロムナードデッキ」(0)という結果、16 番街上杉真理子さん (右下の写真) の「マリンデッキ」に決まりました。住民が使う橋だから、住民がネーミングして住民が選んだ橋の名前です。どうぞ、「マリンデッキで待ち合わせよう」とか「今、マリンデッキだからもうすぐ帰るよ」とか可愛がって使ってください。

(佐藤)



ベイトウンに出来る公共施設で初めての名称公募と言うことですが、それに選ばれとても光栄に思っています。この「マリンデッキ」が、これから出会いの場の一つとして、大海原に差し延べられた優しい手のように、みんなに親しまれるベイトウンのランドマークとなる事を祈ります。(上杉真理子)

皆さんから寄せられた橋の名前を一挙掲載

あしたにける橋 ウェルカムデッキ ウェルカムブリッジ うたせかもめきょう うたせかるがもばし うたせしんばし うたせつどいばし うたせのわたし うたせはなまるばし うたせベイブリッジ うたせりっきょう うみうま橋 かいひんベイブリッジ カモメ橋 きらきらばし きらめき橋 グリーティング橋 ゲートブリッジ さざなみばし じぐざぐ橋 シーサイドブリッジ シャイニングブリッチ セントラルピア セントラルブリッジ (2) セントラル橋 トゥ・ザ・ワールドブリッジ ときめき橋 とともに橋 ドリームブリッジ どんなもんじゃ橋 なみ花ばし パークゲート パークズブリッジ パークタウンブリッジ パークビューブリッジ パークブリッジ ハッピーブリッジ はなどけいばし ピクニック橋 ふれあいブリッジ ふれあい橋 プロッサム橋 プロムナードデッキ ベイ・レインボー ベイウォーク ベイエントランス橋 ベイおいで橋 ベイサイドブリッジ ベイトウン・メイン ベイトウンゲート ベイトウンバシ ベイトウンばし (2) ベイトウンブリッジ (15) ベイトウンベディー ベイトウンモール ベイトウンゆめのはし ベイトウン大橋 ベイトウン中央埠頭 ベイパークブリッジ (2) ベイロードブリッジ ホームタウンブリッジ ぼんゴールデンゲート ポンテ・パティオス ポンテまくはり 21 マリンデッキ みらいばし みらい橋 ミレニアム橋 (2) ゆうかけばし ゆうやげばし ユニバースブリッジ ゆめみ橋 ランドマークブリッジ らんらんばし ロットン橋 ワールドブリッジ 海浜エントランス橋 海浜パークブリッジ 海浜ふれあい橋 海浜ゆめ橋 海浜大橋 海門橋 (かいもんきょう) 干衣橋 (ちいばし) 希望の橋 鬼の住む陸橋 扇橋 打瀬フレンズデッキ 打瀬ベイブリッジ 打瀬レインボー 打瀬橋 (2) 打瀬中央橋 幕張ビーチゲート 幕張ベイブリッジ (2) 未来への橋 未来へはばたく橋 夢前橋 (ユメサキバシ) 洋洋橋

ベイトウンからエコメッセに出展参加

来る 10/17～10/24 幕張新都心で開催される「エコメッセちば 1999」では、幕張ベイトウンから「エコパークを創る会」がフォーラムを企画して参加しています（本誌折り込みビラを参照）。

エコパークを創る会では、これまで打瀬第二小学校（仮称）横に建設される緑地公園のありかたを考えてきました。当初はビオトープをという声もありました。しかし、生態系園としての観察型ビオトープでは子供たちの旺盛な好奇心や活発な行動力を受けとめることができないのではないかという疑問があり、この問題に対する答えを求めて多くの施設を見学し議論を重ねてきました。これまで訪れた公園や施設は小倉台小学校の学校内ビオトープ（印西）、千葉県立中央博物館、花島公園とんぼ池、世田谷公園プレイパーク、千葉県立小金高校ビオトープ、花見川週末処理場とんぼ池などですが、現在でもまだこの問いに対する明確な答えは得られていません。

緑地公園という用途と第二小学校に隣接するという立地条件からは、「子ども」と「自然」がキーワードとして浮かびます。今回のエコメッセに出展するフォーラムはまさにこの2つのキーワードで活動する方々を講師として招き、事例の紹介や討論

を通じてベイトウンの緑地公園のありかたを考えようと企画されたものです。「ベイトウンという都市空間に自然と共存した公園を作る」という試みは多方面から注目を集めており、このテーマに関して多くの実績を持つ方々が講師として参加されることで、このフォーラムには県内外から多くの方が出席を予定しています。

エコパークを創る会は打瀬第二小学校（仮称）に隣接する緑地に、子供たちが自然の中で遊ぶことができる公園を住民の手で創ろうという呼びかけで集まった、自治会連合会の下部組織の会です。発足は1999年3月。現在会員は15名です。住民参加

で公園を考えるというテーマは千葉県企業庁からも賛同をいただき、月1回の会合には企業庁からも2人の方が（私人の立場で）ボランティアで参加されています。「住民が試行錯誤しながら育て、作る公園」「どろんこ公園」「学校ビオトープ」「とんぼ池」「たんぼ公園」「谷津田」「里山」「昆虫採集」「ひみつ基地」「お城」「プレイパーク」。こんな言葉から連想されるイメージを実際の公園に配置することをめざして活動しています。子供たちと街作りのために一緒に素晴らしい公園を作りましょう。問い合わせ先：18番街 小川かほるさん（TEL211-7736） 【記事：松村】

幕張ベイトウンの知恵と行動力を貸してください

メッセがベイトウン住民のサポーターを募集中

幕張メッセ（日本コンベンションセンター）ではベイトウン住民の皆様から、メッセの案内業務などをしてくださるサポーターを募集します。年齢や資格は問いません。最先端の展示会の案内役を務めたり、地方からメッセの見学に来る方々のご案内をしたり、また海外からの視察には語学に堪能な方のサポートも役立ちます。サポートの内容や条件はそれぞれの展示会や催し物によってちがいますが、登録制でご都合のつく時だけのご協力というスタイルで、できるだけ多くの方々にサポートいただければと考えています。

10月5日より始まる「日本エレクトロニクスショー」では、幕張ベイトウンから10数名の方が案内役として参加されます。このイベントを皮切りにベイトウンとメッセを含めた幕張新都心をみんなで支えるシステムが育てばと願っています。詳しくはベイトウンニュース松村（10番街612号 Tel:211-6853 / E-mail:matz@mxq.mesh.ne.jp）まで。

高層の完成で、もうすぐ8000人！

数字で知るベイトウン

なんか最近人が増えたなあと思っていたら、やっぱりこの8月でいまままでにない伸びを記録しました。

県企業庁のデータによれば、いま（8月末現在）の人口は7927人。あと73人で8000人の大台（？）にのります。さすが高層マンション、公園東の街・西の街、セントラルパークウエストの“貢献度”は大したモノです。

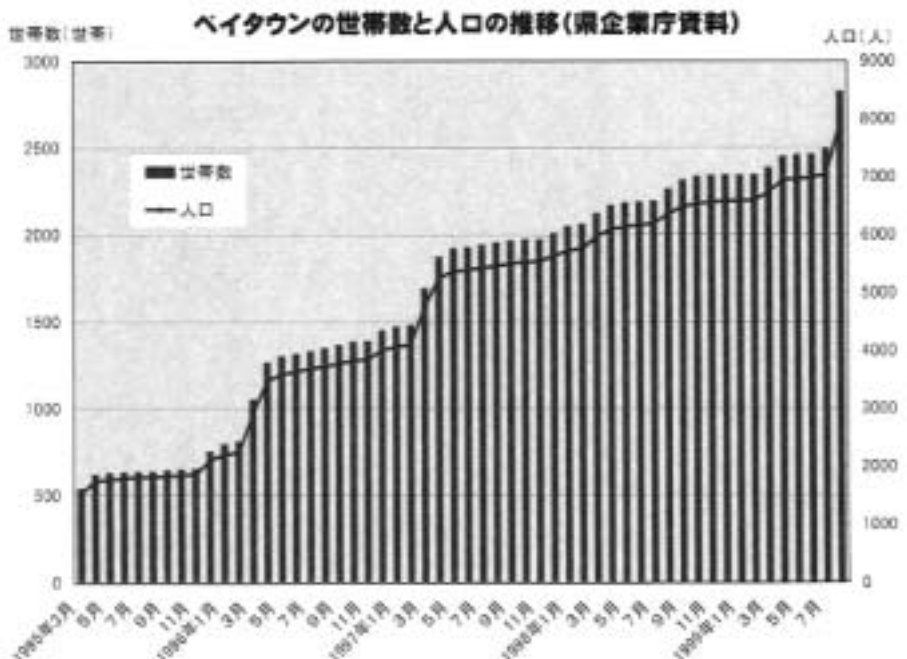
最初のハネ上がりは、8・10・11・12番街ができたとき（96年3月）。次のは、16・17・18番街ができたとき（97年3月）でした。今度のはそれを上回って、8月ひと月で増えた人数は900人近くに達します。

それでももうすぐ8000人。海水浴や「月の砂漠」でおなじみの県下御宿町で人口8000人強ですから、ちょっとした町と同じくらいに育ってきたと言えるでしょう。

でも、計画目標は約2万6000人。「増えた」と言っても、まだ目標の3分の1にも達してません。これまでと同じペースで増えていくとしても、もう10年くらいはかかる計算です。

そう言えば、千葉マリンスタジアムの収容人員は約3万人。計画目標を少し上回る

規模です。目標達成の暁には、器として格好の大きさのスタジアムを利用して、住民総出で記念イベントをやるのもいいでしょう。（茂木）



●敬老会茶話を開催

民生委員の主催、ひまわり会の協力で9/19日(土)に開催(本誌記事参照)。

●コミュニティコア建設について

住民を交えた協議機関を作り企業庁、千葉市とで進めることを確認。11年度中に基本計画をまとめ、平成13年秋の供用開始が目標。

●交通委員会より報告

9/25まで毎週土曜日午前6:30よりキャンペーンを行い、違法駐車車両に警告を行う。

●夏休みパトロールの報告

不審車両、高校生の花火を注意する程度はあったが、ベイタウン内では特に大きな問題の発生はなかった。

●防災委員会活動報告

住民の防災意識を高めるため、簡易

消火器の実験を10/2(土)10:00より消防署で行う。

●駅前駐輪場対策(環境美化委員会) 駐輪場の移転に伴い、9月11日に企業庁・千葉県・千葉市・プレナ幕張とともにクリーンアップ作戦を実施。

●TV撮影への対応

TVドラマの撮影も申し込みがあったが、内容に問題があり、断る。今後撮影申し込みにあたっては、内容等を見ながら慎重に判断する。

●美浜区民フェスティバルへの協力

10/31開催予定の美浜区民フェスティバルへの人的協力を行うことを確認。

●自治会連合会の運営について

自治会連合会の会合を毎月、役員会1回、定例会1回にしてはどうかとの提案を受け、今後、提案通り運営

することとした。

企業庁だより

公共施設設備工事

打瀬北通り、打瀬中通りおよびメッセ大通り歩道、照明灯工事(打瀬二丁目公園に接する区間)

歩道工事

期間:平成11年9月7日~平成12年1月29日

施工者:(株)ガイアートクマガイおよび東京舗装工事(株)

照明灯工事

期間:平成11年9月19日~平成12年2月14日

施工者:共和電気工事(株)およびアヅマ電気工事(株)

歩道および照明灯工事共10月下旬より現地の工事に着手する予定です。

自治組織についての私(わたくし)的考察

幕張ベイタウン自治会連合会(通称「こむこむ」)。以後、自治会連合会)って何でしょう?当初はベイタウンをより住みやすくしたいと考える有志が集まって発足しましたが、単なるマンションの集まりから、街としての機能・意思決定が求められるようになるにつれ、行政、関連企業との窓口の必要性が高まり、自治会連合会がちょうどその役割にはまった形となり、街の声を代表する組織としての役割を担ってきました。自治会連合会が発足したころ(1997年6月)には、ベイタウンにはパティオス1番街からパティオス12番街までの12の街区しかなく、そのうちの10の街区(1、2、3、4、5、6、8、10、11、12)が参加しました(7番街、9番街は賃貸住戸のみの街区で、管理組合や自治会といった街区単位の住民組織が発足しておらず、参加していません)。しかし、その後2年強の月日がたち、街もどんどん膨らんで来たにも関わらず、組織化のスピードは上がり、現時点では1つの街区(16番街)が増えたに過ぎません。逆に、自治会連合会に参加していない街区はというと、先の二つの街区に加えて、ミラリオ、13、15、17、18、公園東の街、公園西の街、セントラルパークウェストと8つも増え、しかもミラリオ等大型住戸を含むため、世帯数では完全に逆転してしまっています。果たして、これは「街の声を代表する組織」と言えるのでしょうか? 実際、ベイタウンネット(<http://www3.makuhari.or.jp/Baytown/index.html>)で活発に街作りに関する議論をしている人たちを見ても、自治会連合会に参加する街区よりも、参加していない街区の人たちの方が多いように見受けられます。これは、本当は街作りに参加したくても、意見の持って行き場/ルートがないことの現れではないのでしょうか?

逆に、行政や他組織からの連絡や問い合わせに関して、自治会連合会に参加していない街区は、このベイタウン

ニュースや管理人さん経由で掲示される各種案内程度の極めて細いパイプしか持っていないと言えます。ベイタウンニュースにしても、自治会連合会に参加している・いないに関わらず、全戸配布を行っています。このままのペースで配布対象住戸が増えていくと、経費・労力の面でどこまで続けていけるか自信がありません。

防災面でも心配があります。自治会連合会には「防災委員会」という専門部会があり、そこで街全体の防災計画を練っていますが、街の半分を超える世帯が組織化されていない状態で、災害が実際に発生したときに混乱を生じないか。

何も必ずしも組織を作らなければ自治活動・住民活動ができないと言っているわけではありません。実際、“やる気”のある人は自分の街区が自治会連合会に参加している・いないに関わらず、街作りに関連した会合(自治会連合会の例会、コミュニティコアを考える住民の集会、打瀬2小(仮称)の住民説明会、等々)や催しに積極的に参加して、意見を出しています。しかし、最後には対行政、対企業の“公式窓口”は自治会連合会である、ということで意見を出す側にも遠慮が生じますし、行政・企業側も「自治会連合会で住民意見をまとめて欲しい」ということになりがちです。

発足当初から、「無理しない、義務にしない、楽しもう」「多数決でなく合意制による議事進行」「決定機関でなく、意見調整機関としてのゆるやかな連合」など、既存の自治会活動にないコンセプトを打ち出し、活動してきた自治会連合会ですが、そろそろそのあり方に転換期を迎えているのかも知れません。

一方で、「自分たちには自治組織は不要」という(街区)を強制して取り込む訳にもいきません。それぞれの街区の声をとりまとめる有志がいなければ是非を問うこともできません。自治組織についてどう考えるか、未だ自治会連合会に参加していない街区の方たちの意見もぜひお聞きしたいと思います。 【板東】

●イベント案内

「ハロウィーン」の仮装行列が街を練り歩く！

仮装した子供たちが近所の家々を回り、“Trick or Treat! (ごちそうしてくれないと、いたずらしちゃうよ)”と言いながらお菓子をねだる—そんな「ハロウィーンパレード」が10月24日の日曜日、ベイタウン内を練り歩きます。主催は、パティオス16番街の英語教室「JOYFUL ENGLISH」。本場と違って家を訪ね回ったりはしませんが、子供を中心とした参加者らはしっかり仮装して町中を歩き回るそうです。

当日は午前10時30分に16番街の教室前を出発して、図の経路を約1時間かけてたどるとのこと。総勢150人を超える規模なだけに、一見の価値はあるかも。



●読者の声

「美しく住みたい」

前号(28号)「13番街の怪事件」で布団干しのことを書かれておりましたので、一筆いたします。

ベイタウンは街路からは干し物が見えない美しい街並みをつくるという、統一されたコンセプト(考え方)で総ての建物がつくられているのですから、住まう我々もこの考え方を考慮して住みたいものです。現状を放置すればベイタウンがナポリや香港の下町の風情になってしまうとも思いませんけれども、干し物は手摺の内側に干せるように設備されているのですし、それでまた十分に機能するのですから、心して美しく住みたいものです。

布団を叩くのもいかがなものでしょう。叩き出されたほこりやダニの屍骸は、窓を開けている他所のお宅に飛び込んで行くのです。布団のほこりは掃除機で吸い取る心づかいが必要でしょう。戸建住宅と共同住宅とでは、おのずと住まい方のマナーも違ってくると思うのです。

10番街・田中(宣)

●「探しています」

職場復帰にあたって、子育てを手伝ってくださる方を探しています。子供は2歳と0歳の女の子。詳しくは下記までお問い合わせください。

公園東の街・小淵(おぶち) TEL&FAX 211-1102

ベイタウンニュースでは読者のみなさまとのパイプ役として、ファミリーマート(1番街)、ヤンマー(5番街)、デイリーヤマザキ(6番街)、リンコスの4カ所に投書箱を設置しています。投稿はもちろん、誌面に対するご意見・ご批判などありましたら、連絡先明記のうえ投書箱までどうぞ。

◆8月最後の日曜日、我が番街では、住民有志により駐車場屋根の清掃を行いました(1番街では、パティオに面して3面に渡り2階相当のコンクリート屋根があり、その部分は雨ざらしのため放っておくと泥や水アカで大変きたなくなります)。業者に頼むと年間で20万円ほどかかる、と言われているものを、住民自らの手で実施しようというもので、今年で2回目となります。経費節約だけでなく、日頃の運動不足解消と、清掃後の慰労会での住民同士の懇親と、一石三鳥のイベントです。そういえば昔団地に住んでいたころにも、年に何回か住民総出で芝の草むしりをしたり、どぶさらいをしていたものです。ここベイタウンでは、そういう光景を見かけることはほとんどありません。生活レベルが上がった、と喜ぶべきなのでしょうか…。

編集：#1-210 板東司(T&F211-0289/tbando@dp.u-netsurf.ne.jp)

◆今回、ベイタウン入口の橋の名前の選考会取材しました。どの名前にも名付けた人の思いがこもっていて、どんな名前が出てくるだろうと楽しみにしていた選考委員の方たちも一苦勞。親しまれる名前をと選ばれたのが「マリンデッキ」です。お天気がよければ海風を感じながら富士山を眺めることのできる絶景ポイントになると思います。この試みに気をよくして(!?)これからも、公園や施設、道路などのネーミングに住民が参加できる機会が増えるといいですね。次はぜひ、自分が名付け親に！

タウンスケッチ記者：#3-310 佐藤則子(T&F211-0090)

◆公園東の街に引っ越してきて、約1か月。住人の数もグッと増えて・・・窓を開け放っていると聞こえてくる「竹や～、竿竹～♪物干しいの竿竹え～♪」ずいぶん、商売熱心ですね！竿竹屋さん。しかしそのうち秋から冬になると、きっと聞こえてくるのは「焼きいも、いかがですか～♪」の声・・・こういう、下町を思い起こさせる声が懐かしいと言うかた、うるさいと言うかた・・・いろいろなかたたちが住むベイタウン、全てのかたたちにとっての桃源郷になれるのでしょうか。

記者：公園東の街 浜田貴代子(atmark@pop01.odn.ne.jp)

◆プロムナードをぶらついてリンコスに買い物に行っても、住民が増えてきたことをこれまで以上に感じます。「ベイタウンの人口・世帯数はいまどのくらいなのか？」との思い付きから、今回の号で「数字で知るベイタウン」を取り上げてみました。まずは「人口・世帯数」をテーマにあげましたが、切り口はほかにもいろいろ考えられます。暮らしに役立つ話ではありませんが、いくつかのテーマでできれば、まあそのうちクイズくらいは作れるでしょう。

記者：#7-301 茂木俊輔(T&F211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp)

◆台湾で大きい地震がありました。かの地にも身内がいる者としては気がききではありません。経済面でのアジア優等生台湾の、一日も早い復旧を願ってやみません。さて、日本でも秋は防災訓練の時期です。以前ベイタウンで防災委員会を立ち上げるとき、被災時は行政の支援が必ずあるので住民組織は不必要と言った人がいました。そうでしょうか？自分の事はできる限り備えるべきではないでしょうか！それが自治への第一歩と考えます。

企画：#3-220 金一剛(T211-0388/ikkim@xa2.so-net.ne.jp)

◆秋風とともに、花壇もメッセ大通りもおわりが近づいてきました。来年の春、ベイタウンの花ナノハナが楽しめるよう、そろそろ鍬を振るわねば。

技術：#10-612 松村守康(T&F211-6853/m-matz@mxq.mesh.ne.jp)

「敬老茶話会」は明るく楽しく賑やかに

第一回敬老茶話会



現在、幕張ベイタウンには70歳以上のご高齢のかたが90名お住まいになっておられます。そこで、さる9月19日(日)に、そのかたがたの親睦と「敬老の日」にちなんで「敬老茶話会」がパティオス3番街集会室にて開催されました。

当日、開会は10時からでしたが、「敬老茶話会」を主催された民生委員のかたがた、協賛の自治会連合会のかたがた、ご協力いただいた「ひまわり会」のかたがたが、朝早くからなかよく準備万端整えられていて、会場は開会の前から和やかな雰囲気になっていました。

当日の出席者42名が揃ったところ



で、民生委員の海下さんの「みなさんが街で出会った時に、あっと気付いて、会話の出来る関係になる…この会が、そんなきっかけになると嬉しく思います。」という言葉で、開会しました。

続いて、自治会連合会田村会長の挨拶でしたが、その中でも「私の祖母の姉は、今109歳で、静岡長寿ナンバーワンです。何年か前に会った時に『どうして、そんなに長生きなの?』と尋ねましたら、『自分の好きなこと、得意なことに磨きかけたのがよかったのかもしれない。』と答えておりました。みなさんも、好きなことに打ち込んで、いつまでも長生きしてください。」の言葉には、何人ものかたが、うなずきながら聞いていらっしゃいました。

そして、ここでお待ちかねの”お茶とお菓子の時間“です。各テーブルには担当区の民生委員のかたも座られて、いろいろな話題でたいへん盛り上がっていました。

あるテーブルでは「一日一合までなら長生きできるのよ。度が過ぎないように、楽しくなる程度に飲むのは、とってもいいことなのよ。」と、お酒と健康のお話。また、あるテーブルでは「高齢者の男女比率は、女4男1だそうだよ。」

とか「なぜこのベイタウンを選んだか」というと、近代的で都心に近くて、しかも空気のいいところだったからだよ。ところが最近、メッセ大通りの車の排気ガスがひどくなってきていて…網戸が排気ガスで真っ黒になるんだよ。」「最近、車もこわい。道を渡る時に、こわい思いをしたことが何度もありますよ。」と、大気汚染や、居住環境問題のお話。また、ある女性のかたは「この街は、ちょっと迷いやすいです。建物もおしゃれで素敵なのですが…入口がわかりにくかったり、似た感じの建物なので迷ってしまい、外出が苦手になってしまいます。」と、思いがけないお話を聞くことができました。

その後、サークル紹介(勧誘?)も楽しくおわり、最後は「里の秋」「紅葉」「故郷」の三曲を、瀬音の松本さんのピアノにあわせて元気に楽しく合唱して、閉会しました。

「小学校唱歌なんて、70年ぶりに歌ったよ!」「故郷が思い出されて、涙ぐんでしまいました。」と、楽しんでいただけたこともたいへん良かったことですが、「帰りは、私たち一緒に帰ります。」と、来る時は別々に来られたかたたちが、知り合いになって、一緒に仲良く帰ってゆかれた後ろ姿が、たいへん印象に残りました。

(浜田)

